

入札制度が変わりました

- 暴力団員等や、役員に暴力団員等がいる法人は、買受人となれません。
- 暴力団員等から資金の提供を受けた個人・法人は、買受人となれません。

入札時には、下記の各書面の提出が
入札書ごとに必要になります。

暴力団員等に該当しない旨の **陳述書** (個人・法人を問わず)

※入札時に提出がないと入札は無効となります(追完不可)。

※記載に不備があった場合、入札が無効になる場合があります。

※提出後の訂正はできません。

※陳述書は、裁判所執行官室で取得できるほか、BITからもダウンロードできます。

住民票

(個人の場合)

資格証明書

(法人の場合)

※入札時に提出がないと入札は無効となります(追完不可)。

※住民票は、氏名・住所・生年月日・性別の記載があり、マイナンバーが記載されていないものを提出してください。

※入札する日において発行後3か月以内のものを提出してください。

宅地建物取引業の免許証の写し (宅地建物取引業者の場合)

※有効期限内のものを提出してください。

(入札方法に関する問合せ) 〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町5-23

山形地方裁判所鶴岡支部執行官室 ☎0235-23-6689 (直通)

競売ファイル（青色ファイル）について

このファイルには、①期間入札公告書、②物件明細書、③現況調査報告書、④評価書の各写しが綴られています。

1 期間入札公告書

物件の表示、一括売却の表示、売却基準価額、買受申出の保証額、固定資産税・都市計画税の年額、期間入札の期間などが記載してあります。これらは手続、売却条件についての重要な情報です。特に売却基準価額は評価書の額を修正して定めていることもありますので、この公告書の記載を必ず見てください。

詳細は、「期間入札公告書の詳細説明」ファイルをご覧ください。

2 物件明細書

執行裁判所が、現況調査報告書、評価書その他の資料を検討し、買受人が負担することとなる他人の権利（主として賃借権）、法定地上権の概要、その他物件の占有関係など買受けの参考となる事項を記載したものです。

物件明細書には、これらの競売をめぐる複雑な権利関係に対する執行裁判所の一応の判断が記載されており、買受けを希望される方は内容を認識しておく必要がある重要な書面です。物件明細書は単独では分かりづらい面もありますが、現況調査報告書、評価書及びこの説明書と併せて見ていただくとより分かりやすいと思います。

詳細は、「物件明細書の詳細説明」ファイルをご覧ください。

3 現況調査報告書

差押えに近接した時点で執行官が売却物件についての現地調査をした結果を記載した報告書です。

現況調査報告書には、建物については、公簿との相違点、占有者及び占有状況（賃借権の内容等）、敷地の内容などが、土地については、公簿との相違点、占有者及び占有状況、売却対象建物以外の地上建物などが記載されています。その他、借地権の内容、地代や管理費の額や滞納の状況などが記載されています。

現況調査報告書には、占有状況は現況調査を行った時の現実の状況がそのまま記載されます。その状況についての執行裁判所の判断は物件明細書に記載されていますので、双方を見比べて占有状況及びそれに対する判断を把握するようにしてください。

また、評価書と同様に、先行事件のものが綴られている場合もあります。

4 評価書

評価人による物件の評価額（売却基準価額の根拠）、その算出の過程等が記載されています。また、評価書にはその物件の公法上の規制の内容、物件の所在する場所の環境、物件の詳細内容、ライフライン供給処理施設の整備状況などが記載されていますから参考にしてください。

詳細は、「評価書の詳細説明」ファイルをご覧ください。

まれに異なる事件番号の評価書がファイルに綴られていることもありますが、これは、同一物件の（又は同一物件を含む）先行事件（先に申し立てられた競売事件）の評価書を綴ってあるもので、先行事件が取下げ、取消しなどで終了し、後行事件（本件）で売却手続が進行しているためです。

※ 上記各写しのコピーを希望される場合は、物件明細閲覧室に備え置いている「青色ファイル持出しカード」を近くにいる裁判所職員に提出し、青色ファイルを物件明細閲覧室から持出す許可を得てから、コピーするようにしてください。

コピー料金は、1枚20円です。

裁判所外へのファイルの持ち出しは、固くお断りします。

物件に対する公法上の規制について

不動産には、一般に、防災や周辺環境保持などの行政目的のために、国の法律、制令、都道府県や政令指定都市の条例等により、その利用に一定の制約が定められています。なかでも特に注意すべき規制は、建築基準法による建物建築に関する規制です。土地によっては建築確認が取れず、建物の新築や増改築ができない場合があります。建ぺい率、容積率の規制により思いどおりの建物が建てられないこともあります。また、規制の内容によっては、金融機関の融資が制約される場合もあるかもしれません。

これら公法上の規制に関する事項は、評価書に記載されています。よく読んでご自分の買受けの動機や目的に沿う物件であるか否かを確認してください。規制の内容に疑問があるときは、市区町村役場に確認されるのもよいでしょう。

詳細は、「公法上の規制の詳細説明」ファイルをご覧ください。

引渡命令について

引渡命令とは、売却された不動産（通常は建物）の所有者又は占有者に対し、その不動産を買受人に引き渡すよう命ずる裁判です。買受人は代金を納付したのち6か月以内に、執行裁判所に対し、引渡命令の申立てをすることができます。その引渡命令が確定すれば、それに基づき執行官に不動産引渡しの強制執行を申し立てることができます。ただし、引渡命令はすべての占有者に対して発令されるものではありません。原則として、物件明細書の「買受人が負担することとなる他人の権利」欄に記載のない占有者に対しては、引渡命令が発令されることになります。もっとも例外もありますので注意してください。

引渡命令の対象、手続などの詳細は、「引渡命令の詳細説明」ファイルをご覧ください。

入札の方法について

入札を希望される方は、執行官室（裁判所1階⑤窓口）で入札に必要な用紙等の交付を受け、入札期間内に手続をしてください。具体的な手続、用紙の記載方法については、執行官室でお尋ねください。

買受申出の禁止について

売却実施を定めた月から遡って2年の間において、当裁判所において実施された競売につき、代金の支払いを怠ったことのある者（その者が法人である場合における該当法人役員、職員を含む）に対しては、売却が認められません。その者を代理人とする買受けの申出の場合も同様です。

山形地方裁判所鶴岡支部

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 7 月 16 日

山形地方裁判所鶴岡支部

裁判所書記官 山 口 歩

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 9 月 3 日から 令和 8 年 9 月 10 日まで
開札期日	日 時 令和 8 年 9 月 17 日 午前 10 時 00 分 場 所 山形地方裁判所鶴岡支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8 年 10 月 7 日 午前 10 時 00 分 場 所 山形地方裁判所鶴岡支部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 株式会社商工組合中央金庫, 農林中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 7 月 16 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



516

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	7,530,000 6,024,000	一括	1,506,000	59,987	17,119
1	3,470,000				
2	4,060,000				

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 鶴岡市城北町 |
| | 地 番 | 4 9 番 1 1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 3 3 0 . 5 8 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 鶴岡市城北町 4 9 番地 1 1 |
| | 家屋 番号 | 4 9 番 1 1 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 1 4 0 . 5 4 平方メートル
2 階 4 1 . 3 5 平方メートル |



物 件 明 細 書

令和 8 年 6 月 1 9 日 .

山形地方裁判所鶴岡支部

裁判所書記官 山 口 歩

1 不動産の表示

【物件番号 1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号 2】

本件共有者らが占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。

- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。
このほか、B I Tのお知らせメニューにも掲載されています。



物 件 目 録

- 1 所 在 鶴岡市城北町
地 番 4 9 番 1 1
地 目 宅地
地 積 3 3 0 . 5 8 平方メートル
所有者 A
- 2 所 在 鶴岡市城北町 4 9 番地 1 1
家屋 番号 4 9 番 1 1
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺 2 階建
床 面 積 1 階 1 4 0 . 5 4 平方メートル
2 階 4 1 . 3 5 平方メートル
共有者 B 持分 1 0 分の 3
共有者 A 持分 1 0 分の 7



令和8年(ケ)第1号
令和8年4月16日受理
令和8年5月28日提出

現況調査報告書

山形地方裁判所鶴岡支部

執行官 武田 道宏

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 所 在 鶴岡市城北町

地 番 49番11

地 目 宅地

地 積 330.58平方メートル

所有者 A

2 所 在 鶴岡市城北町49番地11

家屋 番号 49番11

種 類 居宅

構 造 木造瓦葺2階建

床 面 積 1階 140.54平方メートル
2階 41.35平方メートル

共有者 B 持分10分の3

共有者 A 持分10分の7



不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	山形県鶴岡市城北町49番10号	
土地	物件1	
現況地目	☒ 宅地（物件1） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）	
形状	☒ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者兼建物共有者A ☒ その他の者B（建物共有者） 上記の者が、本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）	
その他の事項	「その他の事項」のとおり	
建物	物件2	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる（ ☐ 主である建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：	
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類： 構造： 床面積：	
占有者及び占有状況	☒ 建物共有者A・B ☐ その他の者 上記の者が、本建物を住居として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）	
その他の事項	「その他の事項」のとおり	
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある [地方裁判所 保管開始日 支部 平成 年()第 号 平成 年 月 日	
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

そ の 他 の 事 項

- 1 物件1の土地は、南西側で幅員約6.5mの舗装市道(建築基準法第42条1項1号道路)に接面している。北側と東側の境界には、コンクリートブロックの塀が設置されており、西側の境界には上部に金属製のフェンスが立てられたブロック塀が設置されていることから、境界は明瞭である。
- 2 物件1の土地は、隣地所有者と境界争いはない。
- 3 物件1の土地にある定着物としては、庭木、庭石、樹木、ブロック塀、灯油タンク、ガスボイラー、電気の引込柱、目隠しフェンス、鉄パイプを組んだ籐棚等がある。
- 4 物件2の建物は、AとBが占有しているが、居住しているAの母親のCによると、AとBは転勤により、令和4年頃に転居して、現在物件2の建物には居住してはいない。年に数回は戻ってくるとのことであるが、占有補助者のCがほぼ一人暮らしをしている。第三者に貸してはいない。
- 5 物件2の建物内にある目的外動産は、Cによると、AとB及びCの所有物であり、第三者のものは置いていない。
- 6 物件2の建物は、新築後約32年経過しており、外壁の一部に汚れや傷みも見られるが、大きな損傷やひびは見られない。建物内は、雨漏りや床の軋み等の支障のある箇所はないが、柱や襖、内壁等に汚れや傷等が見られる。
- 7 物件2の建物内で、猫や犬等のペットは飼っていないため、柱や壁に引っかき傷はない。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

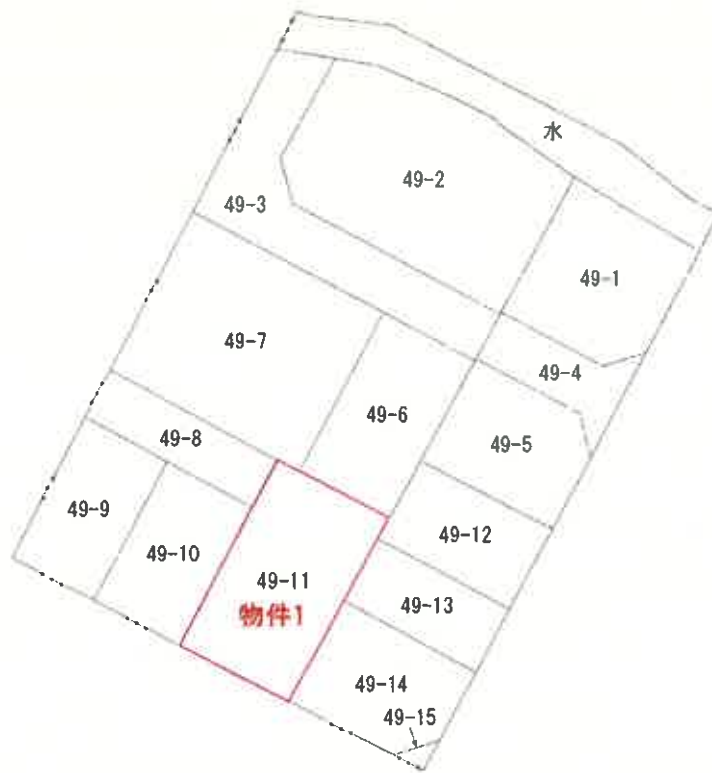
関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ C (Aの母親)	1 私は、Aの母親です。Aは転勤が続いていて、ほぼ住んではいません。私が一人暮らししています。BもAと一緒に転居しました。第三者には貸していません。 2 物件1の土地は、隣地所有者と境界争いはありません。 3 物件2の建物は、雨漏りや床の軋み等はありません。 4 物件2の建物内にある目的外動産は、私とA及びBの所有物です。第三者の所有物を預かったりはしていません。 5 物件2の建物内で、ペットは飼っていません。
執行官の意見	
■ 1 物件1の土地と物件2の建物についての状況は、公図、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。 2 陳述者の陳述に沿った占有が認められる。 3 物件2の建物の占有状況については、現場の状況、立入調査の結果及び関係者からの聴取から、建物共有者AとBが占有していると認定した。	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

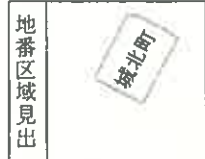
調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
8年4月23日 (木) 15:50-16:10	山形地方法務局 鶴岡支局	山形地方法務局鶴岡支局に行き、全部事項証明書等交付申請し、取得する。
8年4月30日 (木) 15:30-15:40	物件所在地	現地調査、評価人同行なし、建物外観写真、境界確認、前面道路接道確認、占有確認等を行う。
8年5月13日 (水) : :	執行官室	Aに通知を出す。
8年5月21日 (木) 14:30-15:30	物件所在地	現況調査、評価人立会、境界調査、占有調査、建物立入調査、境界確認、立会いしたCから聴取を得る。
8年5月21日 (木) 16:35-16:40	執行官室	AとBの連絡先に架電するもつながらず、折り返しの電話も来ないため、聴取は得られなかった。
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在が予想されたので、立会人 を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち合わせ、解錠技術者 に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

公 図 写



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部	所在	鶴岡市城北町				地番	49番11			
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面		種類	その他
作成年月日	平成4年1月20日			備付年月日(原図)	平成4年1月23日			補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

A3版→A4版に縮小

令和8年4月23日
山形地方方法務局鶴岡支局
登記官

請求番号：9-1
(1/1)

(6 枚目)

公用

005784

求積

② 26-47	
16.803 × 1.539 =	25.859817
20.348 × 3.189 =	64.889772
24.743 × 12.359 =	305.798737
27.055 × 20.955 =	566.937525
25.179 × 11.211 =	282.281769
計 =	1245.767620
1/2 =	622.883810
③ 26-48	
31.819 × 15.515 =	493.671785
31.819 × 15.515 =	493.671785
計 =	987.343570
1/2 =	493.671785
④ 26-49	
23.042 × 10.069 =	232.009898
23.042 × 10.069 =	232.009898
計 =	464.019796
1/2 =	232.009898
⑤ 26-50	
32.542 × 16.254 =	528.937668
32.542 × 16.254 =	528.937668
計 =	1057.875336
1/2 =	528.937668
⑥ 26-51	
27.400 × 12.065 =	330.581000
27.400 × 12.065 =	330.581000
計 =	661.162000
1/2 =	330.581000
⑦ 26-52	
17.931 × 11.358 =	203.660298
17.931 × 8.930 =	160.123830
12.969 × 2.430 =	31.514670
計 =	395.298798
1/2 =	197.649399
⑧ 26-53	
49.435 × 2.496 =	123.389760
52.915 × 2.500 =	132.287500
6.043 × 3.543 =	21.410349
計 =	277.087609
1/2 =	138.5438045

(26-47) (26-48) (26-49) (26-50) (26-51) (26-52) (26-53) (26-1)
 2788.15-622.8838-493.6717-232.0098-528.9376-330.5810-197.6493-138.5438-243.8730

作製者

(日本土地家屋調査士会連合会用紙)

申請人

昭和62年10月 / 日 登記

縮尺 1/500

A3版→A4版に縮小

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和8年4月23日

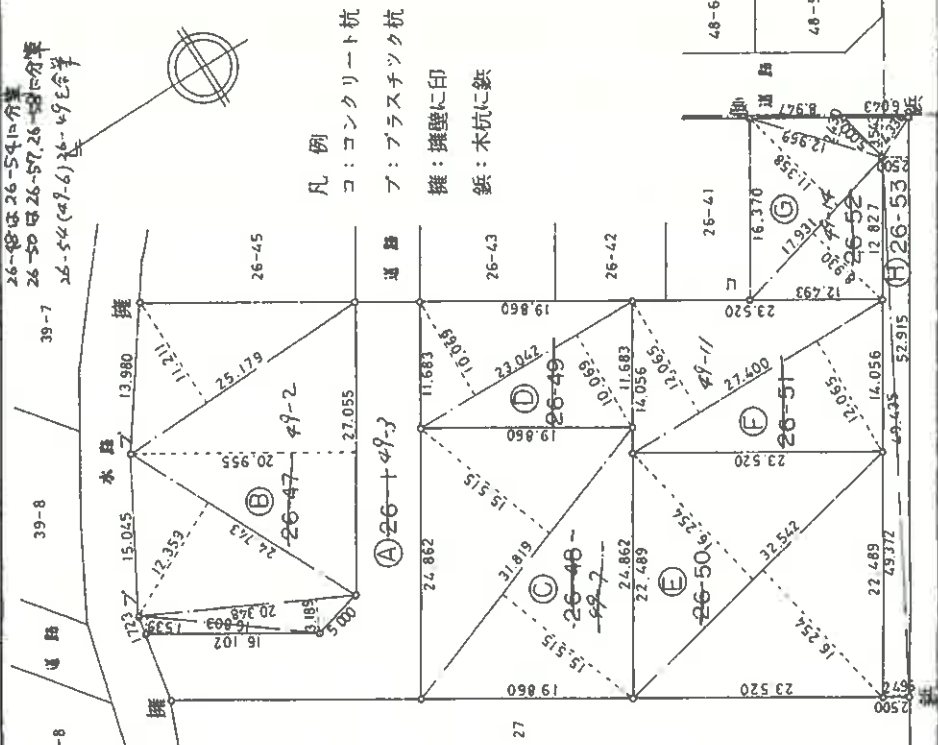
山形地方方法務局 鶴岡支局

登記官

城北町 48-2, 48-7, 48-11, 48-12, 48-13, 48-14, 48-15, 48-16, 48-17, 48-18, 48-19, 48-20, 48-21, 48-22, 48-23, 48-24, 48-25, 48-26, 48-27, 48-28, 48-29, 48-30, 48-31, 48-32, 48-33, 48-34, 48-35, 48-36, 48-37, 48-38, 48-39, 48-40, 48-41, 48-42, 48-43, 48-44, 48-45, 48-46, 48-47, 48-48, 48-49, 48-50, 48-51, 48-52, 48-53, 48-54, 48-55, 48-56, 48-57, 48-58, 48-59, 48-60, 48-61, 48-62, 48-63, 48-64, 48-65, 48-66, 48-67, 48-68, 48-69, 48-70, 48-71, 48-72, 48-73, 48-74, 48-75, 48-76, 48-77, 48-78, 48-79, 48-80, 48-81, 48-82, 48-83, 48-84, 48-85, 48-86, 48-87, 48-88, 48-89, 48-90, 48-91, 48-92, 48-93, 48-94, 48-95, 48-96, 48-97, 48-98, 48-99, 48-100

地番 26-47, 26-48, 26-49, 26-50, 26-51, 26-52, 26-53, 26-54, 26-55, 26-56, 26-57, 26-58, 26-59, 26-60, 26-61, 26-62, 26-63, 26-64, 26-65, 26-66, 26-67, 26-68, 26-69, 26-70, 26-71, 26-72, 26-73, 26-74, 26-75, 26-76, 26-77, 26-78, 26-79, 26-80, 26-81, 26-82, 26-83, 26-84, 26-85, 26-86, 26-87, 26-88, 26-89, 26-90, 26-91, 26-92, 26-93, 26-94, 26-95, 26-96, 26-97, 26-98, 26-99, 26-100

土地の所在 鶴岡市大字新田



凡例
 コ：コンクリート杭
 プ：プラスチック杭
 擁：擁壁に印
 鉄：木杭に鉄

(日 加 算)

登記年月日：平成6年2月1日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和8年4月23日 山形地方方法務局鶴岡支局

(8 枚目)

A3版→A4版に縮小

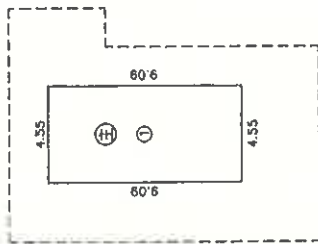
図面番号：9-3

建物図面
各階平面図

107956 各階平面図

家屋番号
49番11

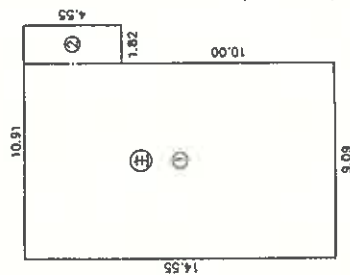
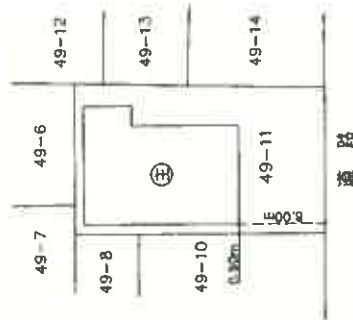
建物の所在
鶴岡市城北町49番地11



2階 床面積計算

①	9.09	×	4.55	=	41.3595
計					41.3595
床面積					41.35 m ²

2階平面図



1階 床面積計算

①	14.55	×	9.09	=	132.2595
②	4.55	×	1.82	=	8.2810
計					140.5405
床面積					140.54 m ²

1階平面図

平成6年2月1日登記
(日加納)

作製者

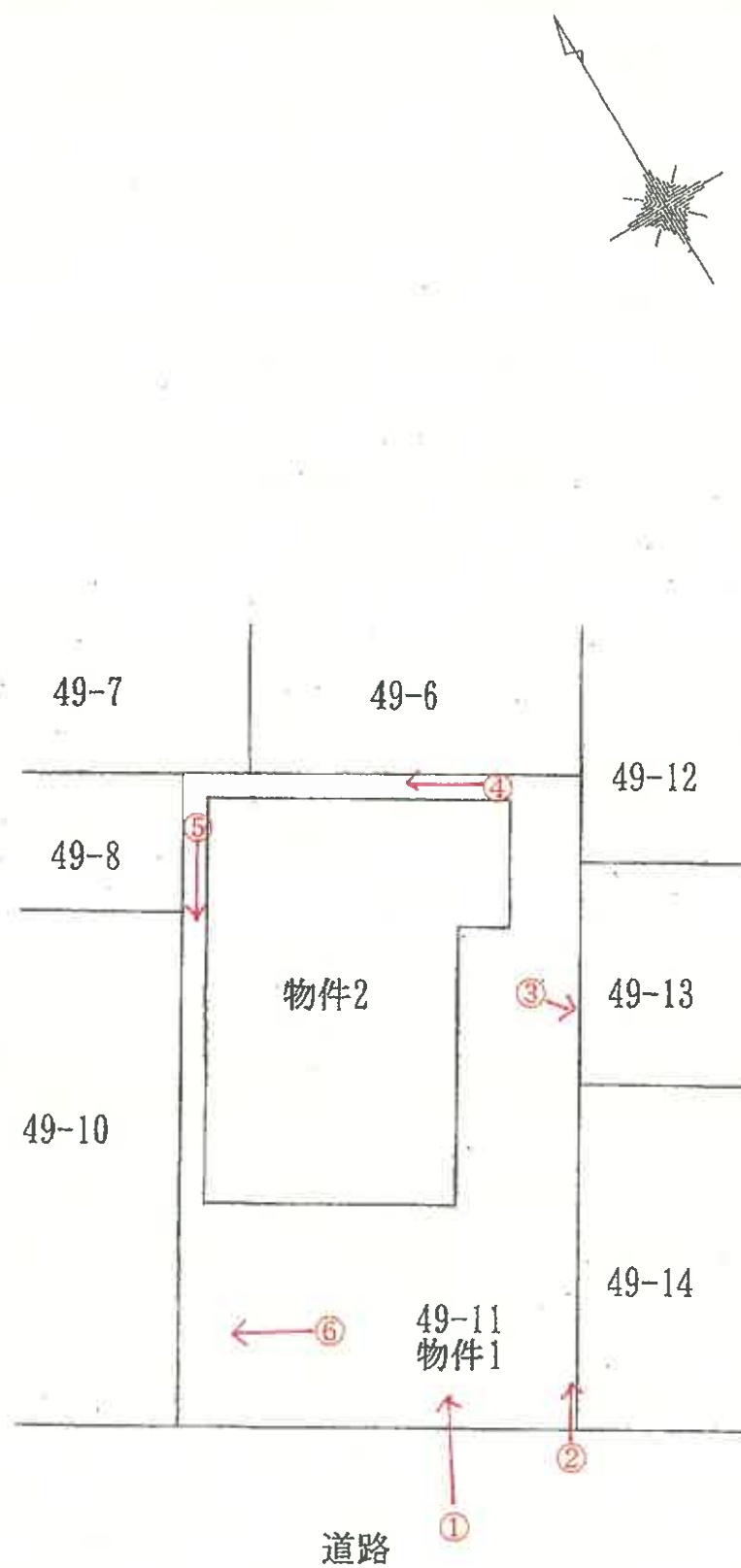
縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

(日本土地家屋調査士会連合会印紙)

土地建物位置関係図



凡例：写真撮影位置方向○→

建物間取図

物件2建物



凡例 : 写真撮影位置方向○→

写真①(物件2 建物外観)



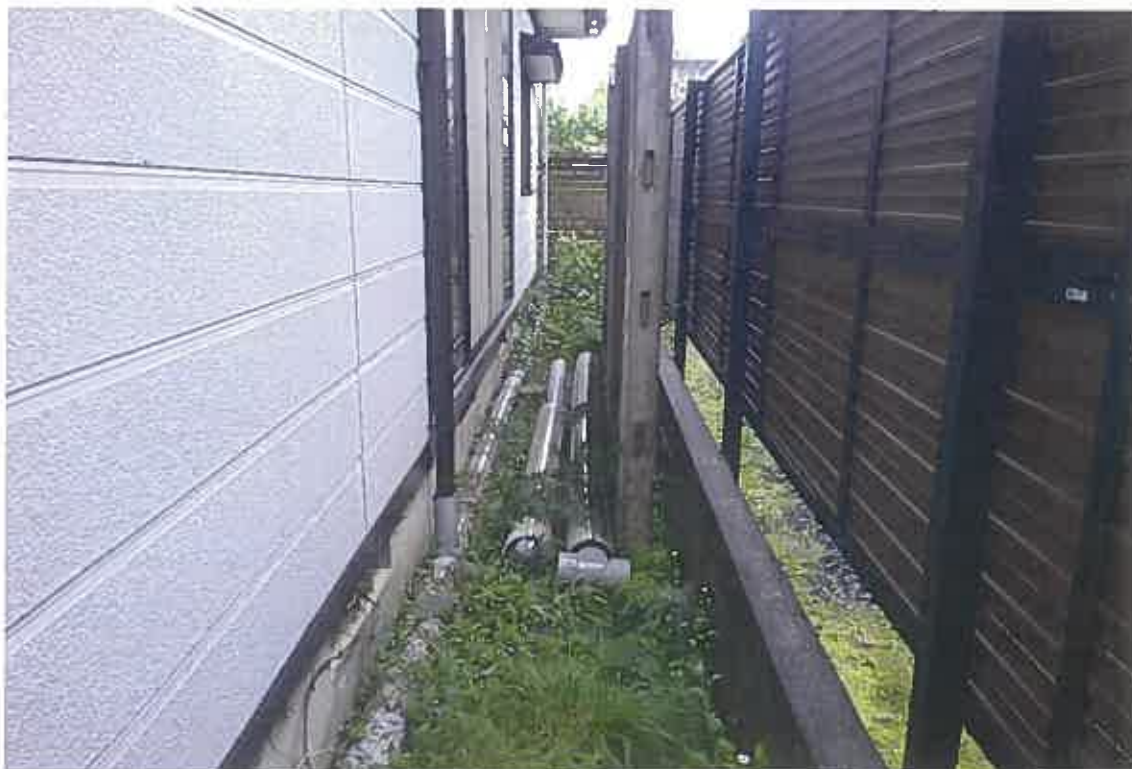
写真②(物件1 南東側境界付近)



写真③(物件1 南東側中央の境界付近)



写真④(物件1 北東側境界付近)



写真⑤(物件1 北西側境界付近 ボイラーあり)



写真⑥(物件1 北西側角付近 鉄パイプを組んだ籐棚あり)



写真⑦(物件2 1階 キッチン)



写真⑧(物件2 1階 ダイニング)



写真⑨(物件2 1階 洋室)



写真⑩(物件2 1階 和室)



(15 枚目)

写真⑪(物件2 1階 和室)



写真⑫(物件2 1階 和室)



(16 枚目)

写真13(物件2 1階 トイレ)



写真14(物件2 1階 和室)



(17 枚目)

写真⑮(物件2 2階 洋室)



写真⑯(物件2 2階 洋室)



令和 8 年 (ケ) 第 1 号
令和 8 年 5 月 21 日 現地調査
令和 8 年 6 月 1 日 評価

山形地方裁判所鶴岡支部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士
阿 部 和 宏

第1 評価額

一括価格	
金 7,530,000 円	
内訳価格	
物件1(土地)	金 3,470,000 円
物件2(建物)	金 4,060,000 円

- 1 一括価格は、各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 土地の内訳価格は、建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、建物の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所在等	登記	現況
1	所在地 地目 地積	鶴岡市城北町 49番11 宅地 330.58㎡	左記にほぼ同じ
2	所在地 家屋番号 種類 構造 床面積	鶴岡市城北町49番地11 49番11 居宅 木造瓦葺2階建 1階 140.54㎡ 2階 41.35㎡	左記にほぼ同じ
番号	特記事項		
1・2	現況との照合については、登記記録、公図、地積測量図、建物図面等の資料を基に、現地で概ね確認したものであり、実測その他厳密な調査に基づき確定したものではない。		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通	J R羽越本線「鶴岡」駅の南西方・道路距離約2.0km	
付 近 の 状 況	一般住宅のほかに共同住宅等が見られる住宅地域	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等 の個別的な規制 を考慮しない一 般的な規制)	都市計画区分 用 途 地 域 指 定 建 蔽 率 指 定 容 積 率 その他の規制	市街化区域 第1種中高層住居専用地域 60% 200% ・第1種高度地区(建築物の高さ最高限度15m) ・鶴岡市景観計画区域(鶴岡市全域) ・建築基準法第22条(屋根の不燃化区域)の指定区域
画 地 条 件	地 積 形 状 間 口 / 奥 行 接 道 状 況	「第3 目的物件」記載のとおり 長方形 間口約14.0m / 奥行約23.5m(地積測量図上) 中間画地
接面道路の状況	南西側で現況約6.5m舗装市道(建築基準法第42条1項1号道路)にほぼ等高に接面する。	
土地利用状況等	土地の利用状況：物件2建物、駐車スペース、植栽等として利用されている。 隣 地 の 状 況：南東側 住宅 南西側 道路 北西側 住宅 北東側 住宅	
供給処理施設	上 水 道 あり 下 水 道 あり ガ ス 配 管 あり (注)供給処理施設における「あり」とは、対象物件の前面道路に該当施設の本管（以下、施設管という）が通っており、通常で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。 「なし」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。	

埋 蔵 文 化 財	鶴岡市社会教育課文化財係に聴取したところ、「周知の埋蔵文化財包蔵地に含まれていない」とのことであった。
土 壌 汚 染	地歴調査によると、従前から住宅等として利用されてきており、現在まで土壌汚染を懸念する建物等が建てられた形跡はない。 ・水質汚濁防止法特定事業場一覧(山形県環境エネルギー部水大気環境課 令和7年3月31日現在)には記載なし。 ・土壌汚染対策法第6条、同第11条に係る調査(山形県環境エネルギー部水大気環境課)では指定なし。 以上により、目的物件について、有害物質の使用の形跡は認められず、土壌汚染が存在することを示す端緒は発見されなかった。 但し、当該調査は、評価人による資料調査であり、厳密に「土壌汚染の有無」を判定するには、別途、専門調査機関による土壌汚染調査を実施することが必要である。
地 下 埋 設 物	上記地歴調査によると、地下埋設物が存在することを示す端緒は発見されなかった。 当該調査は、評価人による資料調査であり、厳密に「地下埋設物の有無」を判定するには、別途、専門調査機関による掘削調査を実施することが必要である。
災 害 の 危 険 性	鶴岡市が公表している「洪水ハザードマップ」において、目的物件が存する地域は想定される浸水予想区域に該当する。 また、鶴岡市が公表している「津波ハザードマップ」において、目的物件が存する地域は想定される浸水区域に該当しない。 なお、山形県が公表している「土砂災害警戒区域等位置図」において、目的物件が存する地域は特に指定されていない。 (山形県ホームページより確認)
特 記 事 項	特になし

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建 築 年 月 日：平成6年1月23日新築(登記記載) 経 過 年 数：約32年 経済的残存耐用年数：4年
仕 様	構 造：木造2階建 屋 根：かわらぶき 外 壁：サイディング 天 井：化粧合板、化粧ボード、ビニールクロス貼 ほか 内 壁：ビニールクロス貼、板張、漆喰 ほか 床 ：畳、フローリング ほか 設 備：上下水道、都市ガス、電気、水洗トイレ、UB等 建 具：アルミサッシ、木製建具等
床面積（現況）	「第3 目的物件」記載のとおり
現 況 用 途 等	現況用途：居宅 間 取 り：別添「建物間取図」参照 2階に屋根裏収納あり。（但し床面積不算入）
品 等	普 通
保守管理の状態	全体総合：やや劣る 建物内部：やや劣る(床や内壁に汚損箇所あり) 建物外部：やや劣る(外壁に劣化箇所あり)
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり
ア ス ベ ス ト	対象建物について、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。 厳密に「アスベストの使用の有無」を判定するには、別途、専門調査機関による材質分析を実施することが必要である。
特 記 事 項	特になし

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1）

目的土地の存する近隣地域の地価水準を考量し、当該地域における標準画地に係る標準画地価格を査定するとともに、当該目的土地の個別的要因を分析した上で、更地価格を算出し、これに建付減価を行って、下記のとおり建付地価格を求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個 別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 補正率 エ	建 付 地 価 格 (円) (万円未満四捨五入) ア×イ×ウ×エ
1	26,400	1.02	330.58	1.00	8,900,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価公示標準地 鶴岡-5

公示価格等 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格
 $27,200 \text{ 円/㎡} \times 100/100 \times 100/103 \times 100/100 = 26,400 \text{ 円/㎡}$

◇時 点 修 正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：方位等の画地条件等を考慮し査定した。

◇地 域 格 差：街路条件、交通接近条件、環境条件、行政的条件等を考慮し査定した。

イ 個別格差： $100\% \times 100\% \times 100\% \times 102.0\% \times 100\% = 102.0\%$ （相乗積計算）

街路条件（0%）、交通接近条件（0%）、環境条件（0%）、画地条件（+2.0%）、行政的条件（0%）

ウ 地 積：登記記録数量を採用した。

エ 建付減価：建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

（以下余白）

(2) 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現 価 率 ウ	建物価格（円） (万円未満四捨五入) ア×イ×ウ
2	200,000	181.89	0.100	3,640,000

ウ 現価率

○ 物件2建物

現価率：経済的全耐用年数36年、経過年数約32年、経済的残存耐用年数4年、観察減価10%、残価率0%、耐用年数による方法と観察減価法を併用し、現価率を以下のとおり査定した。

$$\text{現価率} = (\text{経済的残存耐用年数4年} / \text{経済的全耐用年数36年}) \times (1 - \text{観察減価0.10}) = 0.100$$

(以下余白)

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

(1) 土地利用権等価格

番 号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) (万円未満四捨五入) ア×イ
1	8,900,000	0.35	法定地上権	3,120,000

イ 土地利用権等割合：土地利用権等については、物件1土地全体に物件2建物の法定地上権が及ぶと判定し、その割合を35%と査定した。

(2) 内訳価格及び一括価格

番 号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 イ	占有減価 修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市場 修正 オ	評 価 額 (円) (万円未満四捨五入) (ア+イ)×ウ ×エ×オ
1	8,900,000	-3,120,000	—	1.00	0.60	3,470,000
2	3,640,000	+3,120,000	—	1.00	0.60	4,060,000
一括価格 (合計)						7,530,000

ウ 占有減価修正：特になし

エ 市場性修正：特になし

オ 競売市場修正：第2評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮し40%減価した。

第6 参考価格資料

地価公示価格等

地価公示標準地（鶴岡－5）

所 在： 鶴岡市城北町16番7「城北町16-7」

価 格： 27,200 円/㎡

位 置： JR羽越本線「鶴岡」駅の西方・道路距離約2.0km

価 格 時 点： 令和 8年 1月 1日

地 積： 165 ㎡

供給処理施設： 水道・下水・ガス

接 面 街 路： 南東側6.0m舗装市道

用 途 指 定 等： 市街化区域

第2種中高層住居専用地域

(指定建蔽率 60%、指定容積率 200%)

第1種高度地区(建築物の高さ最高限度15m)

地 域 の 概 要： 中規模一般住宅にアパートも見られる住宅地域

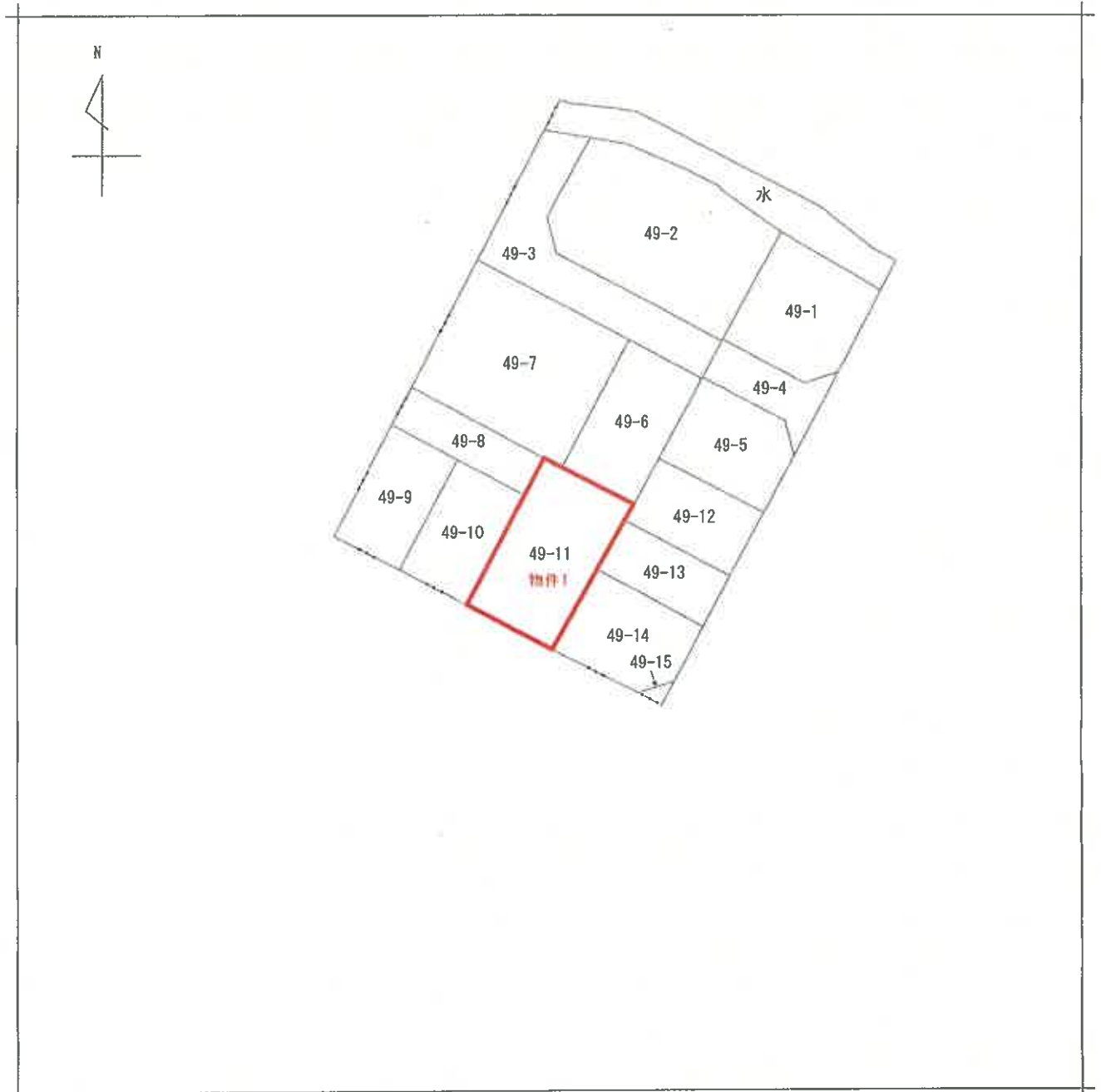
第7 附属資料

1	位 置 図	1葉
2	公 図 写 (法 務 局 備 付)	1葉
3	地積測量図写(法務局備付)	1葉
4	建物図面写(法務局備付)	1葉
5	土地建物位置関係図	1葉
6	建 物 間 取 図	1葉

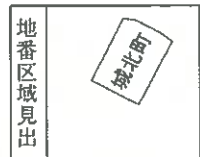
以 上



公 図 写



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の簡略を記載した図面です。



請 求 部 分	所 在	鶴岡市城北町				地 番	49番11			
出 力 縮 小	1/600	精 度 区 分		座 標 系 番 号 又 は 記 号		分 類	地図に準ずる図面		種 類	その他
作 成 年 月 日	平成4年1月20日			備 付 年 月 日 (原 図)	平成4年1月23日			補 事 記 項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和8年5月7日
山形地方法務局鶴岡支局
登記官

請求番号：2-1
(1/1)

A 3 版⇒ A 4 版に縮小

登記年月日：昭和62年10月1日

これは図面に記載されている内容を証明した書面である。
令和8年5月7日 山形地方裁判所鶴岡支部

登記官

A3版⇒A4版に縮小

請求番号：2-2

005784

求積

B 26-47	
16.803 × 1.539 =	25.859817
20.348 × 3.189 =	64.889772
24.743 × 12.359 =	305.798737
27.055 × 20.955 =	566.937525
25.179 × 11.211 =	282.281769
計 =	1245.767620
1/2 =	622.883810
C 26-48	
31.819 × 15.515 =	493.671785
31.819 × 15.515 =	493.671785
計 =	987.343570
1/2 =	493.671785
D 26-49	
23.042 × 10.069 =	232.009898
23.042 × 10.069 =	232.009898
計 =	464.019796
1/2 =	232.009898
E 26-50	
32.542 × 16.254 =	528.937668
32.542 × 16.254 =	528.937668
計 =	1057.875336
1/2 =	528.937668
F 26-51	
27.400 × 12.065 =	330.581000
27.400 × 12.065 =	330.581000
計 =	661.162000
1/2 =	330.581000
G 26-52	
17.931 × 11.358 =	203.660298
17.931 × 8.930 =	160.123830
12.969 × 2.430 =	31.514670
計 =	395.298798
1/2 =	197.649399
H 26-53	
49.435 × 2.496 =	123.389760
52.915 × 2.500 =	132.287500
6.043 × 3.543 =	21.410349
計 =	277.087609
1/2 =	138.5438045

(26-47) (26-48) (26-49) (26-50) (26-51) (26-52) (26-53) (26-1)
2788.15-622.8838-493.6717-232.0098-528.9376-330.5810-197.6493-138.5438-243.8750

作製者

申請人

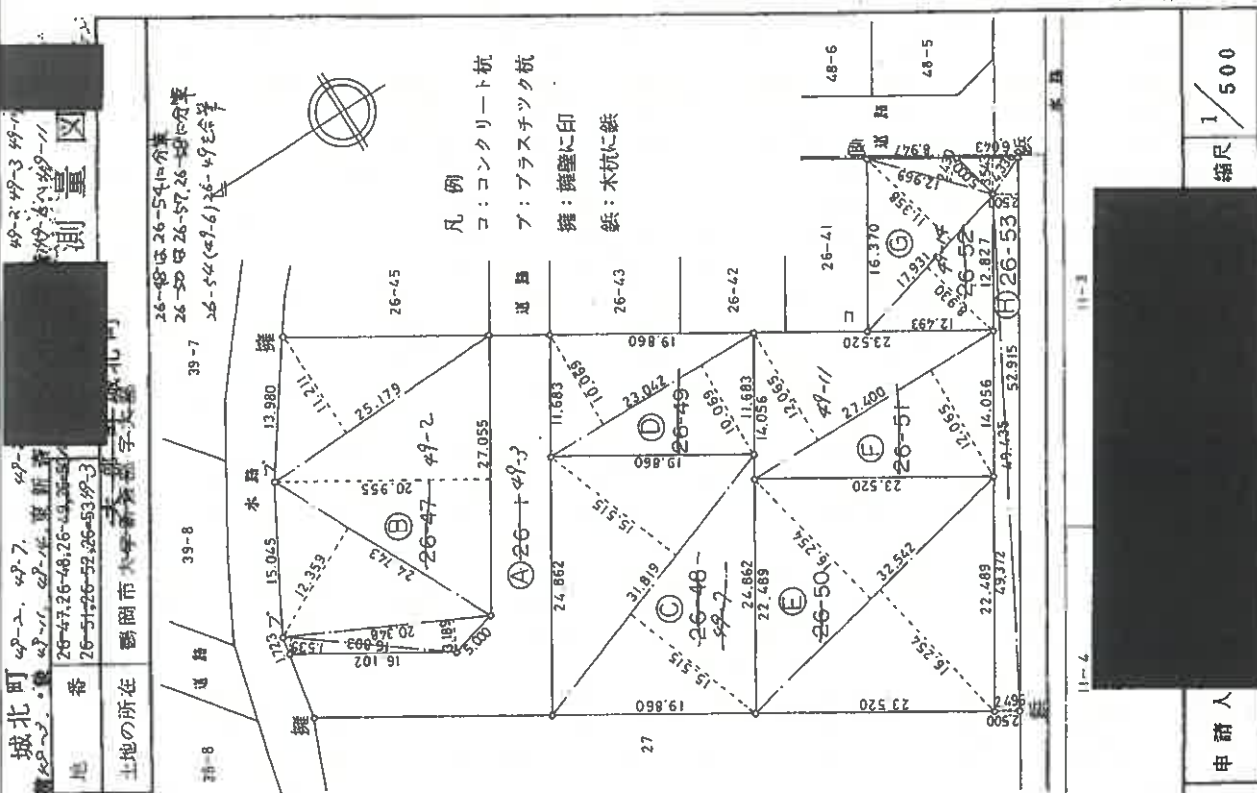
(日本土地測量士会協会登録)

昭和62年10月1日 登記

縮尺 1/500

物件1 地積測量図写

(日割写)



城北町 49-2, 49-3, 49-4, 49-5, 49-6, 49-7, 49-8, 49-9, 49-10, 49-11, 49-12, 49-13, 49-14, 49-15, 49-16, 49-17, 49-18, 49-19, 49-20, 49-21, 49-22, 49-23, 49-24, 49-25, 49-26, 49-27, 49-28, 49-29, 49-30, 49-31, 49-32, 49-33, 49-34, 49-35, 49-36, 49-37, 49-38, 49-39, 49-40, 49-41, 49-42, 49-43, 49-44, 49-45, 49-46, 49-47, 49-48, 49-49, 49-50, 49-51, 49-52, 49-53, 49-54, 49-55, 49-56, 49-57, 49-58, 49-59, 49-60, 49-61, 49-62, 49-63, 49-64, 49-65, 49-66, 49-67, 49-68, 49-69, 49-70, 49-71, 49-72, 49-73, 49-74, 49-75, 49-76, 49-77, 49-78, 49-79, 49-80, 49-81, 49-82, 49-83, 49-84, 49-85, 49-86, 49-87, 49-88, 49-89, 49-90, 49-91, 49-92, 49-93, 49-94, 49-95, 49-96, 49-97, 49-98, 49-99, 49-100

測量図

土地の所在 鶴岡市大字北町

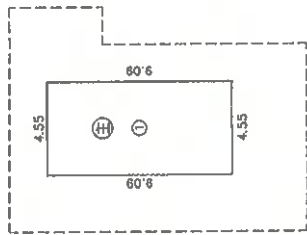
物件2 建物図面写

(日尺換算)

建物図面
各階平面図

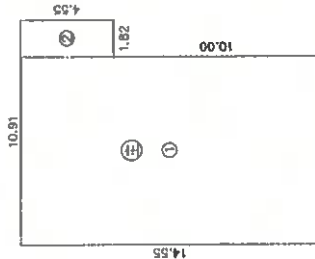
家屋番号	49番11
建物の所在	鶴岡市城北町49番地11

107956 各階平面図



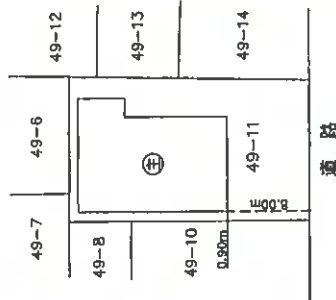
2階 床面積計算				
①	9.09	x	4.55	= 41.3595
計				41.3595
床面積				41.35 m ²

2 階 平 面 図



1階 床面積計算				
①	14.55	x	9.09	= 132.2595
②	4.55	x	1.82	= 8.2810
計				140.5405
床面積				140.54 m ²

1 階 平 面 図



平成6年2月 | 日登記

縮尺 1/500

申請人

縮尺 1/250

作製者

(日本土地家屋調査士会連合会用紙)

(日尺換算)

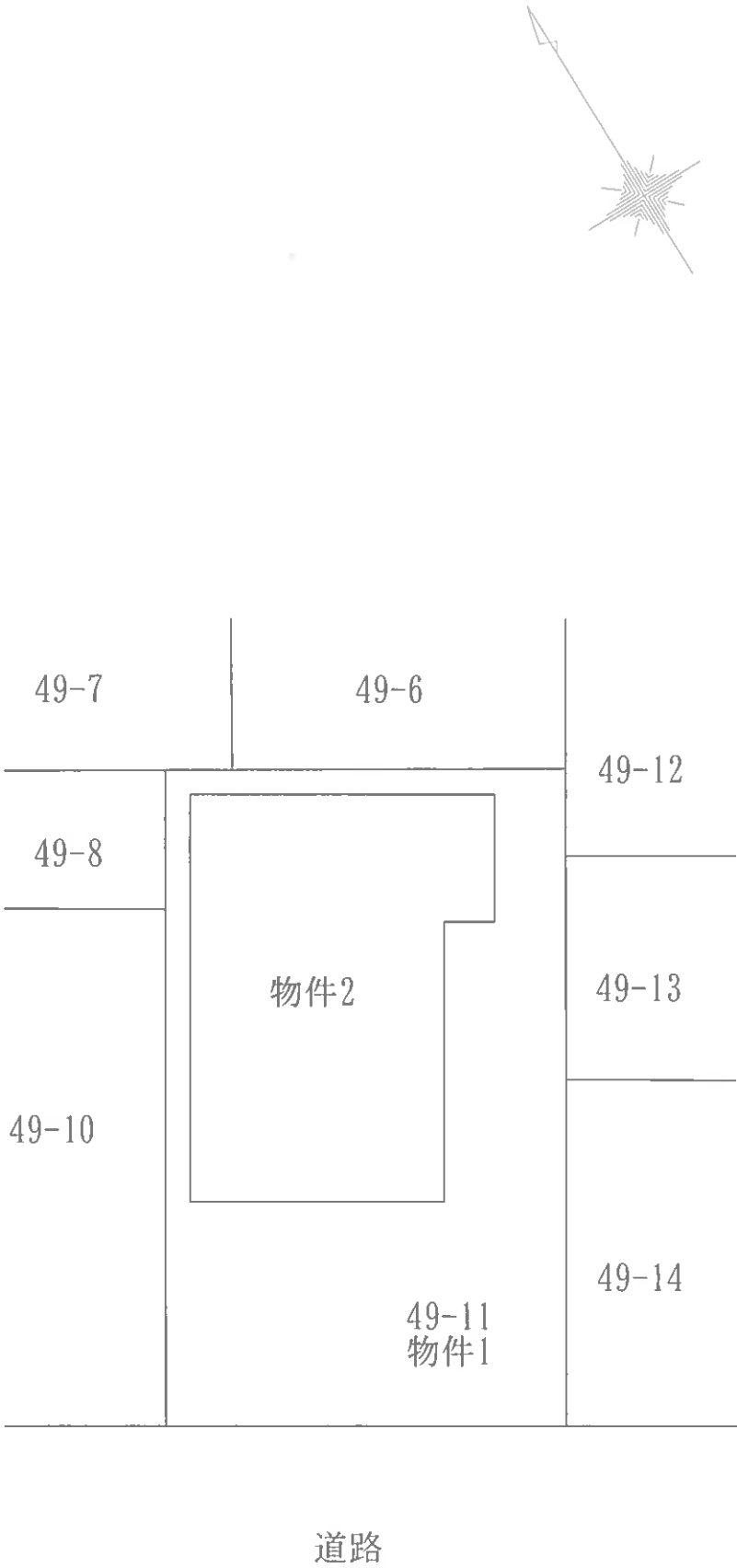
これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和8年5月7日 山形地方広務局鶴岡支局

登記年月日：平成6年2月1日

A 3 版⇒A 4 版に縮小

図案番号：2-3

土地建物位置関係図



建物間取図

物件2建物

